



2023.12月議会

No.65

みやき町

こんにちは **議会** です。



Contents ・主な内容・

新年あいさつ.....	2
12月定例会	3
街かどインタビュー.....	6
一般質問、13人が町政を問う	8
常任委員会視察研修報告.....	18
表紙写真、編集後記ほか	20

シリーズ 農業

「いちご栽培」

各庁舎、こすもす館のテレビで、議会中継を行っています。インターネットでも視聴できます。



みやき町議会中継

検索

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



議長 岡 広明

皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は町議会の活動に対し皆様の温かいご支援ご理解を賜り心より感謝申し上げます。新年を迎え皆様の声を町政にしっかりと届けることを全議員決意を新たにしております。引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて昨年は三年にわたるコロナ禍からようやく収束の兆しが見え本町においても四年ぶりに各地で祭事が行われるなど明るい話題が聞かれました。

今年「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」「全国障害者スポーツ大会」に名称が変わる初めての大会が佐賀で行われます。本町ではソフトボール及びバレーボールの少年男子の競技が行われる予定です。

選手・応援者・支える方々が一緒に盛り上がることでできる大会となることを期待します。

一方で物価高騰に伴う家計負担は依然として厳しく町民の皆様の豊かな暮らしのために議会としてなお一層の努力をする覚悟でございます。

どうか皆様にとってこの一年が希望と活力に満ちた飛躍の年となりますよう心よりお祈り申し上げまして新年のご挨拶といたします。

本年もよろしく願います



議員一同

(後列左から) 長瀬宣宏 議員 吉村哲雄 議員 大石安弘 議員 武田光邦 議員 末次 優 議員 西村健一郎 議員
(中列左から) 益田 清 議員 牟田秀文 議員 園田邦広 議員 岡 友清 議員 宮原宏典 議員
(前列左から) 平野達矢 議員 古賀 通 副議長 岡 広明 議長 松信彰文 議員 目野さとみ 議員

令和5年第4回定例会

12月定例会は12月5日から13日まで行われ、条例8件、規約変更2件、補正予算4件などを審議し、いずれも可決しました。

条例制定

下水道事業の設置等
下水道事業の剰余金の処分等
に関する条例制定 **全員賛成**

官公庁会計（単式簿記）から公営企業会計（複式簿記）への移行に伴って、条例の制定が必要なため。

条例改正

職員の給与等の引き上げ
(再任用職員も) **全員賛成**

人事院勧告を踏まえ、民間給与との較差3,745円を解消し、人材を確保する観点から、若年層に重きを置いた給料月額額の引上げ。

- ・初任給
 - 〈高卒〉 154,700円 ⇒ **166,700円**
12,000円UP↑
 - 〈大卒〉 175,800円 ⇒ **187,800円**
12,000円UP↑
- ・勤続（大卒）
 - 〈10年〉 255,500円 ⇒ **261,500円**
(32歳) 6,000円UP↑
 - 〈20年〉 328,700円 ⇒ **329,900円**
(42歳) 1,200円UP↑

専決処分※

専決処分事項の
報告 **確認**

公用車による駐車場での物損事故の相手方に対し、和解及び損害賠償金を支払ったことの報告。

※専決処分とは？

議会が議決すべき事項を、一定の要件を満たしたものについて、町長が代わって行うこと。

議会の招集を待てない、時間的な余裕がない緊急な場合などに、例外的に認められています。

先決処分をした時は、次の議会で報告しなければならぬとされています。



職員の期末・勤勉手当の引き上げ
(町長・副町長・教育長・議員も) **全員賛成**

民間給与との較差解消のため期末・勤勉手当の加算率や支給率を引き上げ。

- ・一般職 支給率を年0.1月分UP↑
- ・再任用職員 支給率を年0.05月分UP↑
- ・会計年度任用職員 支給率を年0.05月分UP↑
- ・特別職（町長・副町長・教育長） 支給率を年0.1月UP↑
- ・議会議員 支給率を年0.1月UP↑

損害賠償の和解

賛成 13
反対 1

損害賠償に係る和解 及び 損害賠償の額の決定

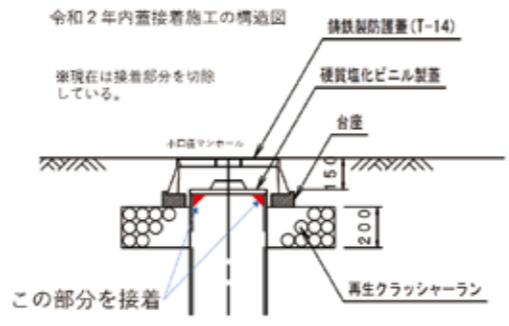
町が管理する下水道施設から汚水が逆流し、相手方の住宅1階部分全面を浸水し住宅や家財を汚損した件について、損害賠償の額を定め和解するため、議会の議決を求めるもの。

和解の概要

- 1 町は、相手方に対し、賠償金として、488万1,250円を支払う。
- 2 町と相手方の間には、本件に関し、本和解概要で定めるもののほか、何らの債権債務がないことを相互に確認する。

原因

令和2年に町道内の小口径マンホールから汚水が逆流する事を防止するために、町が当該マンホールの内蓋を接着したため、事故当日、瞬間的に下水道施設の内圧が急激に高くなったことで、圧力を伴った汚水が住宅内に逆流した。



規約変更

三神地区環境事務組合※ の規約変更

全員賛成

三養基郡町村会規約の変更により、副組合長が「三養基郡町村会会長」から「佐賀東部町長会会長」に名称が改められたので、規約変更を議決。

※し尿、浄化槽汚泥を広域で処理・管理する一部事務組合

規約変更

鳥栖・三養基西部環境施設組合※ の規約変更

全員賛成

共同処理する事務を変更することに伴い、規約を変更することを議決。

- ・溶融資源化センターの運転を停止
- ・令和6年度より施設の解体、清算事務などの共同処理を開始

※ごみ処理等を広域で処理・管理する一部事務組合

条例改正

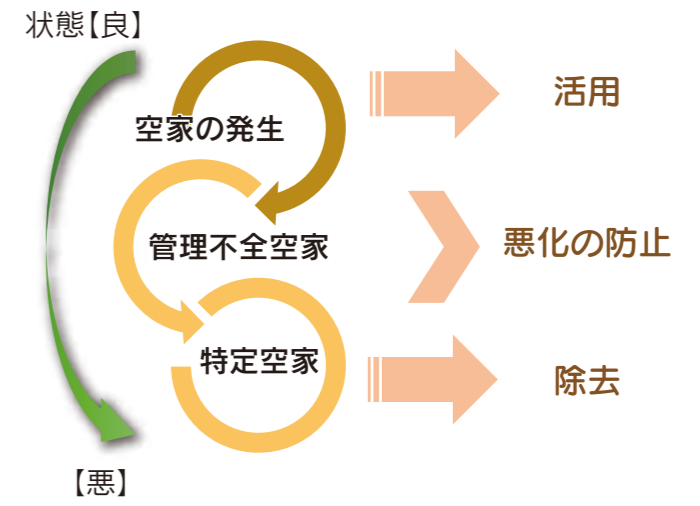
賛成 14
反対 1

空家等の適切な管理に関する条例

空家の

- 「活用拡大」
 - 「管理の確保」
 - 「特定空家の除去」
- の3本柱で対応を強化！

特定空家になる恐れがある
管理不全空家は、勧告を受けると『固定資産税が6分の1となる特例』がなくなる



議員の視点

再発防止策は？

他の地域でも同じようなことが起こる状況にあるのか。今後の対応策は。

答 近年の豪雨に伴って、比較的地盤の低いところでは下水管が満水になる事案はある。小口径マンホールの逆流を防ぐために、中継ポンプをさらに排水能力の高いものにし、緊急時の対応として、ポンプ2台による同時運転システムを構築している。



課長

今後の対策は？

住民は怖いと言われている。今後、絶対にならないようにしてほしい。

答 今後も調査し、原因究明を続けていきたい。答 引き続き下水に流れ込む不明水の調査や、ポンプの機能強化、処理場の増設などを図っていきたい。



課長



部長

議員の視点

空家対策への新たな手法は？

空家が増えると周辺の地価が下がって、可能性がある。町民のためにも資産価値が下がってはいけない。協議会にもしっかりと働いてもらうと、この条例が本領発揮をすると思う。

答 全国の例を学びながら協議会に反映したい。答 今後も空家を有効に活用し、町全体の財産として向上できるように取り組んでいきたい。



課長



町長



議員

額の決定方法、支払時期は？

相手方の要求額が概ね認められるだろうというのだが、この額は日本下水道協会の現地調査で決まるのか。もし保険会社からの支払いが遅い場合は、町の一時立て替えも検討すべきだ。

答 国家賠償法の規定により賠償する。現地調査する登録鑑定人が額を提示し、その額に相手方が同意の意向をされている。議決後、協会が契約している保険会社に請求するが、早急に対応できるように、十分配慮したい。



部長



議員

空家敷地内に、古い車が放置されていることがある。例えば夏の暑い日に子どもが遊んで車内に入り、ドアが開かなくなって閉じ込められてしまう、ということも考えられる。これまで放置車両はどのように管理されているか。



課長

答 今後そのような場合は、空家所有者を特定し、連絡をとって解決していくような形になる。

町営住宅の外壁補修工事

令和6年4月以降に予定していた工事が、前倒して行われます。令和5年度内に工事が完了しない見込みのため、9,222万4千円の繰越明許費を設定しています。

※繰越明許費とは？

年度内に支出が終わらない見込みの事業を、あらかじめ予算で定めておき、翌年度に繰り越して使用できるようにします。

1億4,998万5千円

うち9,222万4千円繰越明許費※



第2北浦団地A棟・B棟

予算の総額に歳入歳出それぞれ1億9020万4千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ157億4369万5千円とします。主なものは次のとおりです。

一般会計補正予算

全員賛成

通学支援バス業務委託事業

2,267万7千円

さいおふたんこうい 債務負担行為※

通学支援バスを令和6年度より、みやき町直営から民間バス事業者への委託に切り替えるための債務負担行為の設定です。

※債務負担行為とは？

将来にわたる債務（支払義務）を約束するための限度額を定めておくこと。



特別会計補正予算

令和5年度みやき町下水道事業特別会計補正予算（第3号）

全員賛成

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ196万1千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ12億842万4千円とします。

令和5年度みやき町ふるさと寄附金基金特別会計補正予算（第2号）

全員賛成

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,736万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ65億3,071万7千円とします。

追加日程

令和5年度みやき町一般会計補正予算（第5号）

全員賛成

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億8,977万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ159億3,346万6千円とします。

※11月29日に国会にて住民税非課税世帯への7万円給付を行う補正予算が成立。みやき町12月議会にて追加提案され、予算が成立しました。



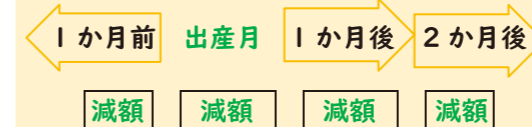
条例改正

国民健康保険税の減額対象が拡大

全員賛成

出産する被保険者の産前産後期間（4か月）の国保税が減額される改正。

令和5年11月以降の出産が対象。



条例改正

ひとり親家庭等医療費助成

全員賛成

親が加入している健康保険による年齢制限を撤廃！

ひとり親家庭等の医療費助成事業の対象外となっている、後期高齢者医療制度に加入する75歳以上の親も、医療費助成の対象とする改正。



広報委員が「街」に出てインタビューしてきました！



今回は農村環境改善センターに行ってきました

みやき町に望むことは？

コミュニティバスの停留所を増やしてほしい

買物できる場所が少ない

移動販売を全地区で行ってほしい

町内施設の通路を全体的に広くしてほしい



楽屋が広く使いやすい

改善センターの照明を明るくしてほしい

町内で活動されている寛寿会の皆様

各議員の質問内容にあわせた『SDGsの17目標のロゴマーク』を掲載しています。

QRコードからは録画映像をご覧いただけますので是非ご利用ください。

一般質問

町政を問う!!

一般質問とは、議員が町の行財政全般について、町と政策討論するものです。
1人あたりの持ち時間は、答弁を含めて60分です。
令和5年12月定例会では13人が行いました。



一般質問

一般質問

QRコードから一般質問の録画映像をご覧いただけます



P12~13	P14~15	P12~13	P10~11	P8~9
生成AIの活用	不起訴不当	財政健全化	飼い主のいない猫	中長期健全財政
体育施設の空調	多目的人工芝グラウンド	みやき町の町政	多目的人工芝グラウンド	将来に向けた学校の在り方
里道・水路	破損遊漁船の撤去	駅・公共施設のバリアフリー化	多目的人工芝グラウンド	多目的人工芝グラウンド

掲載内容は、質問者本人が要約し広報編集委員会が校正したものです。会議録はこちらから閲覧できます。

(準備ができ次第掲載します)

(掲載は登壇順)

議員 大規模災害時の避難所運営
備蓄食料を増やすべきだ。

課長 昨年度3900食だったが、5500食まで増やした。今後、想定避難者数の3日分まで増やすことを検討する。

議員 災害を想定した職員模擬訓練を実施すべき。

課長 現在行っている訓練に加え、全職員が災害に備える意識を更に高めていくための方法を検討する。

議員 各地区にある自主防災組織は機能していない。充実を図るべき。

課長 防災に関する出前講座などの機会で普及啓発、活動の推進を促すことや、防災に関する情報の積極的な提供などの検討を進める。



バリアフリー化が進んでいないJR中原駅

課長 フリー化が必須だが指定避難所の改善センター、婦人の家は早急に対応すべき。

議員 両施設を優先的に改修するよう計画する。

町長 駅全体の構想については、財政面を含め、議員の皆様と協議・検討していきたい。

議員 生涯学習施設に関して、どの施設もバリア

議員 中原駅に関して、屋根もなくバリアフリー化の進展がないが今後の対応は。

町長 鉄道駅のバリアフリー化の整備に関する補助制度は、基本構想に位置づけることで重点配分の対象となるため、早急なバリアフリー基本構想検討の着手に努める。

議員 駅舎自体を、東西に移動する、橋上駅舎とし歩道橋をかけ通学する小学生の安全面までカバーする等、思い切った構想が必要だ。

町長 構想を検討し実現に向け行動する

問 JR中原駅、町内公共施設のバリアフリー化を

答 構想を検討し実現に向け行動する



すえつぐ 末次 ゆう 優 議員





こが古賀 とおる 議員



問

三城橋上流の破損した遊漁船撤去を

答

河川の管理者に係留許可を確認する

切通川下流の東津と芦塚に架かる三城橋付近に破損した遊漁船が放置してある。ここ数年は屋根もなくなり潮の満ち干きで浮き沈みし、もし固定縄が外れたら河川を上ったり下ったりする。近くには三根西部工業団地があり交通量も多く、環境上も好ましくない。

また大雨が降ると船が橋げたに当たり、更に下流の筑後川合流部には水門と江見排水機が設置されており排水機の稼働時に支障をきたす恐れがある。河川管理者がどちらの県なのか、船の所有者の把握及び撤去等の解決が急がれる。今後どうするのか。

課長

この船は川魚料理を提供する屋形船で、現在屋根もなくなり床も泥が堆積している。係

問

各校舎の老朽化に伴う建て替えは

答

令和6年度予算編成に向け検討を



わたひでふみ 秀文 議員



議員

各校舎の老朽化に伴う建て替えについては、厳しい財政状況の中、今後さらに増加する老朽化した学校施設を効果的・効率的に整備していく必要があると思うが、今後の計画は。

課長

各小中学校の校舎は、築年数が50年を越えている校舎もあり、特に北茂安小学校の北校舎が築60年と一番古く、今年度教育委員会内に検討会を設置し、個別具体的な計画や改築・改修に向けた調査を、令和6年度当初予算編成に向けて検討している。

問

副案は参加資格要件に「抵触」しないか

答

副案は参考案と認識



そのだくにひろ 邦広 議員



議員

みやき町多目的人工芝グラウンド及び調整池整備事業について2事業者から参加表明があり、10月30日審査委員会が開催され、みやきスポーツパークパートナーズ(代表企業は朝日&R)が優先交渉権者に決定。

審査報告書では、優先交渉権者となったみやきスポーツパークパートナーズの評価は、「要求水準以上」のものであったと評価されている。にも関わらず各施設において、更にグレードの高い副案の採用を積極的に取り入れるよう求められている。審査委員会は内容に対する意見を行う機関ではない。グレードアップさせるとなると提案価格を上回るのでないのか、そのようなことは絶対あってはならない。

副町長

審査報告書に記載の副案については、審査後、総括時に意見を求めたところ委員の一人から今後の整備においては是非検討して欲しいという意見があったことを記載したものである。

課長

審査委員の要望等については、これまでのPFI事業においても、同様に審査報告書に記載している。

議員

参加資格要件には、応募者の提案書は1案とすると規定されており、グレードアップさせる副案を求められたことは参加資格要件に「抵触」するのではないのか。

副町長

副案は、原案を少し機能強化した場合、こういう案もあるという参考案と認識している。あくまで提案価格に基づく案が原案であり、それは一案のみの提出となっている。

施設整備内容確認と修正審議の期間

実質的な事業の着手

R5年11月～R6年2月	議会への説明協議(全員協議会)	施設整備内容確認と修正審議の期間
R6年3月	3月定例会でのR6年度当初予算議案上程	
R6年4月	用地地権者及びPFI事業優先交渉権者との仮契約	
R6年5月	5月臨時会での用地取得とPFI事業工事の契約議決	実質的な事業の着手
R6年5月～R7年9月	事業関連申請及び工事関連業務の着手	
R6年5月～R7年9月	議会への説明協議	

今後のスケジュール

このほか、『再犯防止推進計画の策定』を質問しました。



干潮時の屋形船



ながせ 宣宏 議員



問 町長就任後の実績を問う

答 3事業を実施した

議員

みやき町の現状、これまでの取り組みは。

町長

高齢者支援としては、移動手段の確保の課題解決として、タクシー利用助成による日用品等の買い物や通院など、ドア・ツー・ドアによる目的地までの移動支援サービスを令和4年5月から開始している。

また、食料品や日用品などの購入にあたって、徒歩圏内に商業施設が無く、免許返納などで移動手段がない世帯を支援する目的として、令和4年7月から、移動販売車により各地区を巡回する買物支援を開始した。

子育て支援では、子どもたちが孤立しやすい放課後の時間に、家庭や学校以外の場で、信頼できる大人や友達と安心して過ごし、将来の自立に向けて生き抜く力を育む場を提供する目的として、第3の居場所事業として「みやキッズハウス」を令和5年7月にオープンした。

議員

みやき町の今後の方針は。

町長

令和5年3月に策定した、第3次みやき町総合計画では、「未来に躍動する『共感』『協働』のまち みやき」を基本理念とし、
①笑顔が見える 健やかな まちづくり
②優しさあふれる 心豊かな まちづくり
③住民が創る 住み続けたい まちづくり
を重点方針に掲げ、更に、まちづくりの基本方針として、
①安全・安心に暮らせる まち
②楽しい子育て・あふれる人材の まち
③健康長寿の まち
④暮らしを支える産業が伸び行く まち
⑤心豊かで多様性のある まち
⑥活力にあふれた 多様な交流がうまれる まち
⑦計画推進のために 健全な行財政運営、行政の効率化、DXによる向上に取り組みしていく。



移動販売車



ますだ 清 議員



問 人工芝グラウンド建設工事の凍結を

答 現段階では凍結に至らないのでは

議員

財政は大変厳しい。ふるさと納税で寄せられた寄附金の貯金はあと5・6年で枯渇する。学校給食・医療費の無償化の予算がなくなってしまう。対策と予算編成を伺う。

部長

行革大綱を年度内に策定。地方財政計画にふるさと納税寄附金が計上された場合、仮に20億円寄附された時は普通交付税が7・5億円減収となる可能性がある。厳しい財政計画を立てて体制を整えていきたい。

議員

人工芝グラウンド建設は工事費が8億1千万円（町費半分）で工事単価が上がれば一層町費負担は増額する。財政ひっ迫のあり、凍結をすべきだ。

グラウンドの維持管理費は20年間で3億円、高品質の芝で寿命がきたら張替えに1億2千万円の経費がかかる。町民の使用料は運営事業者の収入とする。あらかた提案されているが、説明が棚上げされ、議決された経緯となっている。

課長

令和5年6月議会で総事業費9億4千万円（用地と工事費）の債務負担行為の設定額の承認を議会でいただき、設定額内にてPFI手法の公募型提案で入札による審査が完了している。凍結が必要とはならないのでは。維持管理費は、これから議員のみなさんと決めていくことになる。



多目的人工芝グラウンド全体計画図
(令和6・7年度事業)



たけだ 光邦 議員



問 里道・水路の取扱いについて

答 機能・財産管理を市町村が行う

議員

いつから町の財産か、管理は誰が行っているか。払い下げは、金額はどの程度か。

課長

平成17年4月1日より国から市町村へ譲与され、維持管理を受益者をお願いしている。払い下げは申請書を提出すれば取得でき、過去3年間の払い下げ件数は18件で、宅地は路線価格の5割で取得できる。

議員

里道の舗装に係る補助や水路の整備に係る経費はどうなってるか。

課長

里道の舗装は、要件により費用の70%または90%の補助金が交付され、水路は治水対策や生活環境の改善が見込まれれば、地区の意向を勘案しながら整備を行っている。

水害対策について

議員

流域治水推進調査業務の進捗状況は。

課長

今年5月にプロポーザル審査会を実施し、選定業者の決定後、4回協議を実施した。既存対応部分と新規対策案を含め骨子の確認、効果の有無など多方面から協議を行っている。今後、早急に取りまとめたい。

議員

今後どのように実施するのか、見通しは。

課長

既存の効果がある治水対策の継続実施、調査業務の中で対策案の選定、費用、スケジュールなど具体的な項目の精査を行い、周辺自治体とも協力し、国、県に対し調査結果を基に水害対策を要望する。

議員

町長の治水対策の取組方・考え方は。

町長

現状を国、県に伝える事が大事であり、町でも出来る事をしっかりとやり、三つの動きで流域治水を支えていく動きを継続したい。



通瀬川水門



やすひろ 安弘 議員
おいしい 大石



問 温暖化対策として屋内
体育施設空調設備を望む

答 緊急策として移動式スボ
トクーラーを設置する

議員 異常気象の影響により地球温暖化は加速度的に進行し、自然災害を拡大させている。屋内外の行事やスポーツ競技者も、熱中症による緊急搬送者が増加している。

競技力向上や安全な活動保障をするためには、空調設備は必置と考えるがその対策は、

課長 町内の体育施設としては、3つの体育館と2つの武道館、勤労者青少年ホームがある。

これまで、サーキュレーターで温暖化策を取ってきた。来年度代替措置として、中原武道館にスポットクーラーの設置を検討する。



みやき町中原武道館

ふるさと寄附金について

議員 ここ数年ふるさと寄附金の受け入れ額は厳しい状況にあり、その活用の見直しが必要と考える。また、女子サッカー支援を目的とした企業版ふるさと寄附金についても同様で、財政的にも民営化を推進すべきと考える。

課長 11月末現在、前年比約3億円増。4年度の主な充当先として、道路改良水路工事、公共下水道、消防施設事業、地区安全いきいき交付金、電子マネー応援クーポン事業に充当。

経費の見直しについては、事業の必要性、有効性を十分検証した上で、歳出抑制、受益者負担の適正化を図っていく。女子サッカーについて、財政的にも民営化を推進していく。



たつや 達矢 議員
ひらの 平野



問 中長期健全財政確立の
進め方は

答 行政改革推進委員会の
答申に従う

議員 合併特例債、ふるさと納税制度による寄附金により、行政サービスの拡充を図り町財政が肥大化した。その結果、町の財政状況の物差しである経常収支比率が上昇して財政運営の危機区域に近づいてきた。そこで次の4点について伺う。

(一) 経常収支比率の悪化の原因と対策は。

課長 令和4年度の比率は95・6%で県下で19番目である。事業の拡大、投資的経費、事務事業の増加により財政規模が大きくなった。地方自治法、地方財政法の趣旨に基づき住民の福祉の増進と町の健全な発展に努めていきたい。

議員 (二) 行政改革推進の方策として聖域なき施策の選択が必要である。施策の集中と選択にどの様に取り組むのか。

課長 年度内に第二次行政改革大綱の答申をいただくので、第三次総合計画と合わせて、行政改革の取り組みを進めていきたい。

議員 (三) 地方交付税とふるさと納税の一般財源化について財政課の考え方を伺う。

課長 地方財政計画におけるふるさと納税の計上の在り方が検討されているので、対応策に取り組みたい。

議員 (四) 財政状況を町民と共通理解し、協働促進するためには現況の情報提供が大事である。その手法を伺う。

課長 現況をわかりやすく見える化を図り、公表し、関心を持っていただくよう情報提供の手段を研究する。



お金と時間



の 目野さとみ 議員



問 飼い主のいない猫
不妊去勢の手術補助金額は

答 不妊2万8千円・
去勢1万4千円の補助

議員 TNR活動支援策の一環として、一見で分かるオリジナルウェア作成支援等があると考えるが他に活動を支援する取り組みの考えは。

課長 啓発チラシ等について表現の見直し・工夫を行っている、地域の方々やボランティア団体の方々とも意見交換しながら、活動しやすい環境づくりに努めていきたい。

議員 ワンヘルスについて全議員・職員が学んだ。「ワンヘルス推進宣言」の考えはあるか。

課長 みやき町全体で推進宣言に向けた機運の醸成を図っていく段階だと考えている。

コロナワクチン費用の補助は

特例臨時接種が終了し来年度より定期接種化になるがこれまでの違いは。

課長 対象者は65歳以上の高齢者や60歳から64歳までの一定の基礎疾患を有する重症化リスクの高い方になる。

議員 接種の目的と、定期接種から外れた方はどのような接種が可能か。

課長 個人の発病、重症化防止、間接的な集団予防を図ることが目的。外れた方は任意接種となる。

議員 町として助成をしていたら高齢者インフルインザ予防接種と同様に千円で接種できないか。

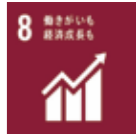
課長 近隣市町や医師会とも調整を図り、自己負担額の設定を十分に検討する。



TNR活動リターンの様子



みやはら ひろのり 議員



問 何のための合併か
又も財政硬直化！

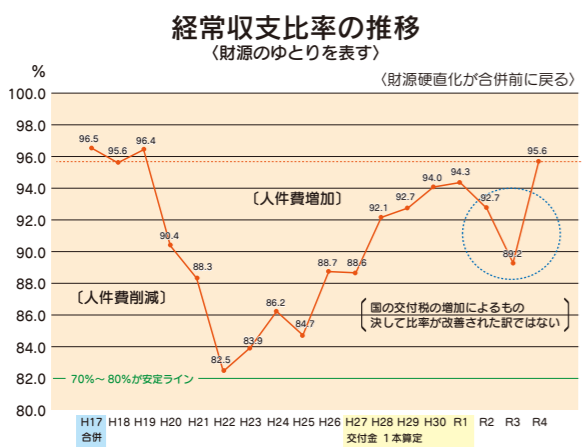
答 行革委員会と今できる
財政改革を

議員 合併は町民の生活を守るために行った。グラフに示すように経常収支比率が合併当時は96・5%、平成21年に80%台と安定したが、交付税一本算定、人件費増等で合併前より悪く財政硬直化となった。合併の本筋である公共施設・学校の再編成や本庁方式は検討せず、人口減少対策等や住宅事業へのバラマキ行政が悪化の原因だ。今後の予算削減が課題だ。

部長 経常収支比率は財政の硬直度を表すもので、例えば経常収支比率95%では、収入を100万円とした場合、95万円が経常的な支出で残り5万円が自由に使えるお金。令和3年度に89%になったのは、国からの地方交付税の増加が大きな原因で、決して改善した訳ではない。既存事業の廃止、休止、先送り等を含め検証。行政改革大綱の答申をいただき、改善に取り組む。

議員 令和2年3月定例会で前町長が発言している。合併の平準化は進んだ。ふるさと納税のバブルは終わった。予算を削減するところはない。国は第2弾の合併を考えていると聞いてビックリだ。岡町長は今の財政状況では第2の夕張となると言われた。思い切った政策を打ち出せ。

町長 現在は合併の話は全く出ていない。また、ふるさと納税は恒久財源ではない。地道に様々な分野にメスを入れてしっかりと財政改革をやり遂げる。



よしむら てつお 議員



問 不起訴不当に対する
考えを問う

答 検察の判断の最中なので
答えられない

議員 岡町長が犯した建造物侵入、不正アクセス行為の禁止等に関する法律違反及び窃盗事件について、佐賀検察審査会は、「社会常識的に考えられない行為で悪質だ。今後も同様の事件が発生する恐れがあり、住民の不安も払拭されない懸念がある」などとして、不起訴不当と議決した。今の町長の考えを問う。

町長 検察が、起訴か不起訴かを判断するというような検察審査会の結果を受け、その判断をしている最中なので、この発言に対する影響を考えれば当然答えられない。

議員 多目的人工芝グラウンド整備事業について
優先交渉権者が決定したとの報告があった

町長 立場上、いろいろな業種の方々とお会いする機会がある。プロポーザルの前後ではなく、かなり以前にご挨拶というようなことは、1回か2回か、そういう記憶はある。

議員 多目的人工芝グラウンド整備事業の公募・審査に関し、①提案内容の評価②応募グループのうち一者を失格にするの情報③審査の意図的な操作について、周囲に話したことはあるか。

課長 関係課等の職員間では業務上の必要性で話したが、それ以外に話した覚えはない。



多目的人工芝グラウンド予定地

このほか『地域活性化起業人事業』、『ふるさと寄附金基金』について質問しました。



にしむらけんいちろう 議員



問 行政での生成AIの
活用について

答 12月より試験的に
開始している

議員 昨今、民間企業を中心に生成AIを業務に活用しようとする機運が高まり、行政においても同様の流れが生まれつつあるが、みやき町においてはどうか。

課長 株式会社Qinetと自治体DXの推進に係る包括連携協定を締結している。本年度はDX推進計画を実行に移すため、各課からDXに係る提案を募集し、課をまたいだ6つのアクションプランを策定。生成AIについてはデジタル化による行政業務効率化のテーマの中で活用を検討。

議員 生成AIをどのような形で業務に活かしているのか。

課長 12月からまずは無料トライアルでの生成AIサービスを導入した。生成AIの特徴である、文章生成等の能力を活かして、文書や挨拶文のたたき台、文章の要約、校正などの分野で活用が可能と考える。また大量のデータベースを活かした比較作業、問い合わせ対応への活用などにも活かせるかと考える。

議員 新しい技術である。職員
のフォロー体制はどの
のか。

課長 DXを推進していくため
には人材育成・リテラシーの向上が必要不可欠と考える。今後研修等を通じて職員全体の育成とリテラシー向上を図っていく。各課で選出されているDX推進担当者からも生成AIの活用を推進してもらおう。



部長 生成AIが間違いを起こすこともあるのでそこは慎重にやっていくべきと思う。先進地事例を勉強しながらみやき町に合った生成AIの活用方法を見出していきたい。

産業建設常任委員会

定住総合対策によるまちづくり

10/24 富山県^{かみいち}上市町

全国的に問題となっている人口減少・空家の増加の未然防止のため、「0円空家バンク制度」を創設されています。空家の提供者と取得希望者への内覧会等によるマッチングを大切にされ、また、ホームページやYouTube等を活用した情報発信がなされていました。

子育て世帯への定住補助金等と併せ、当町の広報宣伝となっています。



牟田委員長

町の特徴を活かした交通・教育・福祉等のまちづくり施策を、町民とともに考えていながら進めていくことが大切だと感じました。

10/25 富山県^{とやま}富山市

富山市もまた、人口減少と超高齢化となる見込みです。

合併して広域化した当市は、一定規模の住民サービス等が難しくなるため、富山駅周辺の路面電車や路線バス等の公共交通機関の強化・充実を行い、沿線の中心市街地へ公共施設や住宅地等を集積することで、自家用車に依存しない「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」を目指しています。



民生福祉常任委員会

健康長寿のまちづくりを学ぶ

10/31 長野県^{さく}佐久市

市民協働で「健康づくり」に徹して取り組み、自分の健康は自分で守る体づくりのサポートを市が行っており、健康で長生き、寝込まず長寿を全うするという精神に合点でした。

健康的な足を育てる「足育」が重視され、一本足で忍者ポーズの「にんにん体操」を推進協議会が町ぐるみの運動として広められていました。



佐久市ホームページより



益田委員長

高齢化社会、笑顔で健康・長生きの精神に共感した。健康は自分で守る意識が大切で、どうサポートするか、町政に活かしていきたいと思えます。

11/1 長野県^{いな}伊那市

ACE推進のまちづくり（A_アクション体を動かそう、C_チェック 健診をうけよう、E_イート 食のバランスと減塩）。

健康応援ポイント事業では、その推進事業への参加で商品がゲットできるもの。事業費は100万円以下で地元商店の協力により成果を上げていました。

すこやか健康塾は、歩みに緩急をつける方法で体力と筋力を増進。また、健診日数増などで特定健診受診率を大きく押し上げていました。



総務文教常任委員会

災害に強いまちづくりに学ぶ

10/24 兵庫県^{さよう}佐用町

平成21年の台風第9号により20人もの尊い命がなくなる甚大な被害を受け、国や兵庫県などの関係機関との強力な体制のもと応急対策の取り組みがなされました。

しかし課題も存在し、「佐用町第9号災害検証委員会」を発足。千種川水系の河川改修工事や治山工事、佐用チャンネルや防災行政無線、電子メールなどの活用、行政組織の見直し、災害対策の強化が図られました。



目野委員長

みやき町では、自助、共助、公助の考え方を基本とし「自分の命は自分で守る」自助の強化の推進をする必要があると考えます。



佐用町災害記録誌

10/25 兵庫県^{たいし}太子町

災害対策として、住民へのマイ避難カードの作成、ひょうご防災ネット、企業や公共団体との応援協定の締結等に取り組まれています。

応援協定に「5日で5000枚の約束」プロジェクト実行委員会があり、量の調達、避難所へ配送・設置を約束するものです。その他、企業等の締結状況・今後の課題や避難所のペットの対策等を調査しました。



先進地に学び町政に活かす!



昨年の10月・11月に、各常任委員会所管に関連する課題について、先進地を訪問し研修を受けました。各委員長からのレポートです。

委員会研修報告

表紙の写真

シリーズ 農業

〔第3回／全4回〕



4回にわたって、わが町の基幹産業である『農業』に従事している姿にスポットを当てていきます！

第3回は、いちご農家の方取材しました。

何を栽培されていますか？

イチゴのほかに、米、麦、大豆も作っています。

農業支援について、

町への要望はありますか？

物価高の影響が苦しいので、県への返済をサポートできるような施策を行ってほしい。

例えば、返済期間を延長するなど。

みやき町のいいところは？

農業者に限らず、横のつながりが強く、親切な人が多いところです。



森園 貴希さん (32歳)

次回定例会 (3月) 午前9時30分開会

会期予定

3月7日 (木) ~ 27日 (水)

一般質問

3月21日 (木)、22日 (金)、25日 (月)



※この会期日程等は予定であり、変更となる場合があります。

最新の日程は、みやき町ホームページまたは議会事務局 (94-5728) でご確認ください。

編集後記

新年あけまして

おめでとうございます

今年最初の「議会だより」をお届けいたしました。

私たち広報編集委員は昨年末に議会広報誌に関する研修を行い、さらに読みやすい議会だよりを作るためにはどうしたら良いか、委員全員で協議して参りました。

今回は「一般質問」のレイアウト変更を行い、視覚的に見やすくなるように工夫しました。一昨年から誌面カラー化に始まり、少しずつリニューアルを重ねてまいりましたが今回はいかがでしたでしょうか？

これからも議会広報誌を通して皆様に議会のことを分かりやすくお伝え出来るよう努力して参りますのでよろしくお願いたします。(西)

◎広報編集委員会

委員長	平野 達矢
副委員長	西村健一郎
委員	末次 優
委員	長瀬 宣宏
委員	吉村 哲雄
委員	武田 光邦

発行／佐賀県みやき町議会 編集／議会広報編集委員会

〒849-0101 佐賀県三養基郡みやき町大字原古賀1043 TEL 0942-94-5728